

診療科目 ● 整形外科学

プログラム責任者：齋藤 知行

附属病院	
主任教授	齋藤 知行（整形外科部長）
准教授	稲葉 裕、赤松 泰
講師	小林 直実、熊谷 研、松尾 光祐
助教	山田 勝崇、小林 秀郎、上石 貴之、針金 健吾、草山 喜洋、崔 賢民 池 裕之、森川 耀源、井出 学
附属市民総合医療センター	
准教授	三ツ木 直人（整形外科部長）
准教授	瀧 直也
講師	荒武 正人
助教	太田 裕彦、石田 航
リウマチ膠原病センター	
准教授	持田 勇一（リウマチ膠原病センター部長）
助教	石井 克志

本プログラムの特徴

救急、脊椎・脊髄、変形性関節症・関節リウマチ、スポーツ・外傷、骨軟部腫瘍、小児整形など幅広い領域について、関連病院と研修プログラムを共有しながら整形外科全般について学べます。特に大学では一般病院ではあまり経験できない疾患、症例を中心に学ぶことができます。例えば高位脛骨骨切り術や寛骨臼回転骨切り術などの高度な技術を要する関節温存手術を学ぶことができます。横浜市大の後期研修プログラムは関連病院とのローテートが可能なので、このシステムを活用し専門医取得を目標とします。センター病院では特に人工関節置換術を中心とした関節外科と脊椎外科に関して豊富な症例を経験することができます。またリウマチ膠原病センターにおける関節リウマチの症例数、手術数は首都圏でも有数であり、幅広いリウマチ学の研修が可能で、専門医養成プログラム終了後も当教室の教育プログラムにのっとり、神奈川県内関連病院での専門分野での研修や国内外への留学、あるいは社会人大学院への入学など、専門性を深め、自身の研究をより発展させることが可能です。

どの施設においても共通していることは、臨床的な知識と技術の習得のみではなく、臨床研究を中心とする学術的な面においても多くを学べるという点です。実際に各施設において国内学会はもちろん、多くの国際学会での発表を行っており、論文発表も国内雑誌のみではなく英文誌への投稿を目標とした指導を行っています。専門医取得後はさらに自分の極めたい専門領域を重点的に学ぶスペシャリスト養成コースや研究を重点的に行うアカデミックコースなどがあり、長いスパンでの指導を目標としています。

目 標

1. 整形外科の基本的な診療技術を習得する。
2. 画像所見の読影技術と診断能力を習得する。
3. 整形外科の基本的な手術手技を習得する。
4. 症例報告や臨床研究等の学会発表、論文発表を自ら行える能力を習得する。

目標とする学会認定専門資格

日本整形外科学会専門医

日本リウマチ学会専門医

主な協力病院

横浜南共済病院、平塚共済病院、相模原協同病院、茅ヶ崎市立病院、藤沢市民病院、横浜市民病院、小田原市立病院、大和市立病院、横浜医療センター、県立こども医療センター、横浜保土ヶ谷中央病院、横須賀共済病院、関東労災病院、横須賀市立うまち病院、横須賀市立市民病院、新百合ヶ丘総合病院、横浜掖済会病院、浦賀病院、神奈川県立がんセンターほか

診療科のホームページ URL	担当者・連絡先
http://www.yokohama-seikei.jp/	松尾 光祐 E-mail : k_matsuo@yokohama-cu.ac.jp

診療科の実績

当科は変形性膝関節症に対する骨切り術を古くから伝統的に行っており、これまでの施行症例数は世界的にも有数の教室です。若年者の関節症に対しては寛骨臼回転骨切り術や、大腿骨頭壊死症に対する骨頭回転骨切り術なども積極的に施行しています。また人工関節置換術においてはコンピューターナビゲーションシステムを取り入れており、正確な手術を行っています。膝関節、リウマチ、脊椎、股関節、手の外科、腫瘍、スポーツ整形、小児整形など幅広い領域の専門クリニックを有しています。数多くの学会発表を行っており、国内学会のみではなく例年アメリカ整形外科学会においても発表を行っています。論文は海外の一流英文誌に投稿することを第一目標と、毎年多くの業績が残されています。

指導医から一言

当教室は昭和24年より開講し、神奈川でも最も歴史のある教室の一つです。そのため神奈川県内の主な基幹病院を関連病院としており、密接な協力体制をとっています。また県内には多くの開業された同門の先輩方がおられ、病診、病病連携も極めて良好です。神奈川県内で整形外科医としての将来を考えておられる先生方には是非とも当教室で研修されることをお勧めいたします。当教室は横浜市大のみでなく、他大学出身のスタッフが多数いることも特徴であり、学閥などの閉鎖的雰囲気は全くありません。本院においては関節外科、脊椎、スポーツ、手の外科、腫瘍、と全般的に学ぶことが可能であり、センター病院では多くの人工関節手術、脊椎外科手術を経験することができます。またリウマチ膠原病センターでは年間100例の関節リウマチの手術件数がありリウマチ外科を重点的に学ぶことが可能です。いずれの施設においても共通している点は、臨床的知識や技能はもちろんです。研究活動、学会発表や論文作成などの学術的な部分にも重点をおいた指導を行っている点です。興味のあるテーマでの研究を継続することで、将来的には大学院、社会人大学院への進学により学位を取得し、さらに海外留学などの可能性が広がります。

医療が高度化、専門化する現代において自分の専門分野、研究領域を見つけ、それを磨いていくことは非常に重要です。そのためにはまず幅広く整形外科全般における基本知識、手技を習得し、その上で専門的知識、高度な手術手技を実際に学び、研究活動にも携わることが可能な当教室での研修は理想的な環境であると言えます。

シニアレジデントからのメッセージ

当教室では各施設ともに一般的な整形外科の基本的知識、手技、手術のみでなく、多くの専門領域における最先端の治療を経験することができました。臨床面のみではなく、活発な研究、学会活動に触れられることは貴重な経験であり、刺激になりました。今後の自分の専門分野を決定する上で、興味のもてる研究テーマを探すことができるのは一般病院ではなかなか難しいことだと思います。また、横浜市大出身ではない自分にとって、他大学出身の先生が多く、学閥など一切ないことは安心でした。関連病院は神奈川県内各地の主な基幹病院が網羅されており、これから神奈川県内中心に整形外科として働こうと考えている先生には強くお勧めできる研修システムであると思います。自分は将来的には学位取得を目指しているため、社会人大学院などの制度は非常に魅力的であり、研修終了後のビジョンも描きやすいと思います。